

1. 原稿執筆にあたって：投稿規定および本執筆要領をよく読み、本誌の最新号を参照して、原稿を作成すること。原稿のレイアウト設定、表紙の情報の設定をフォーマットした投稿論文作成補助ファイル（MSWord(2003)）を原稿投稿 WEB サイトからダウンロードすることができる。
2. 原稿のレイアウト設定：原稿の用紙は A4 とし、上下左右は各 30 mm 程度の余白をとり、フォントの大きさは 12 ポイント程度、横書きで 25 行程度として、左端に行番号をつけ、通し頁をフッタの中央にのせる。フォントは Times New Roman または Times を使用する。特殊文字については使用フォントの unicode または Symbol を使用する。日本語、中国語、韓国語などの 2 バイトフォントは使用しない。
3. 原稿の構成：「Title page」, 「Abstract and Key words」, 「Text」, 「Acknowledgments」, 「References」, 「Tables」, 「Figure legends」, 「Figures」の順とする。
 - 1) タイトルページ：以下の項目をこの順に記載する。
 - (1) 原稿種別：Regular paper, Note, Review のいずれかを記載する。
 - (2) 短縮表題：40 文字以内で記述
 - (3) 表題
 - (4) 著者名および所属名：下記を参考に記述する。責任著者には「*」（アスタリスク）印を添える。
Masafumi Hidaka,^{1,2} Mamoru Nishimoto,² Motomitsu Kitaoka,² Takayoshi Wakagi,¹ Hirofumi Shoun,¹ and Shinya Fushinobu^{1,*}
¹*Department of Biotechnology, The University of Tokyo (1-1-1 Yayoi, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8657, Japan)*
²*National Food Research Institute, National Agriculture and Food Research Organization (2-1-12 Kannondai, Tsukuba, Ibaraki 305-8642, Japan)*
 - (5) 責任著者の連絡先：電話番号, Fax 番号, E-mail アドレスを下記のように記す。
*Corresponding author (Tel. +81-XX; Fax. +81-XX (or Tel. & Fax. +81-XX); e-mail xxx@yyy.zz.jp)
 - 2) 要旨およびキーワード：要旨は Regular paper, Review で 250 単語以内、Note で 150 単語以内とする。目的、方法、結果、考察などを含め本文の要点を簡潔に記述する。要旨の最後に改行して、4 以上 6 以下のキーワードを付ける。
 - 3) 本文：大見出しは全て大文字ボールド体で記述する。大見出し後に改行する。中見出しはイタリックとし中見出し名の終わりにピリオドを打つ。そのまま改行せずに内容を記述する。
Regular paper は「INTRODUCTION」「MATERIALS AND METHODS」, 「RESULTS」, 「DISCUSSION」の区分に分け、大見出しとして、この順に記す（ただし、「INTRODUCTION」は大見出しとして書かない）。「RESULTS」と「DISCUSSION」は「RESULTS AND DISCUSSION」と合わせてもよいこととする。また、「MATERIALS AND METHODS」は「EXPERIMENTAL」として「DISCUSSION」の後ろに記載しても良い。Note は「INTRODUCTION」「MATERIALS AND METHODS」, 「RESULTS」, 「DISCUSSION」部分が大見出し項目に分けないが、項目分けを意識して記述すること。必要ならば本文の最後に

「EXPERIMENTAL」の項目を大見出しとしてつけても良い。Reviewの本文記述はとくにその形式を定めない。

- 4) 「Acknowledgments」: 必要な場合のみ大見出しをつけて text の後ろに記述する。
- 5) 「References」: 文献の引用は本文中に現われた順に右肩に 1) 2) 3) 4-6) のように上つき番号で小さく記す。リストの記載は下記の〈例〉に従う。引用文献リストには大見出しをつける。印刷中の論文を引用する場合は、可能な限り doi を記載すること。未発表データ、投稿準備中の研究成果、WEB SITE を引用する場合には、本文にカッコ書き () で記述し引用文献リストには含めないこと。

〈例〉

雑誌引用の場合

- 1) M.J. Rudick and A.D. Elbein: Glycoprotein enzymes secreted by *Aspergillus fumigatus*: Purification and properties of β -glucosidase. *J. Biol. Chem.*, **248**, 6505-6513 (1973) .
- 2) B. Henrissat and A. Bairoch: New families in the classification of glycosyl hydrolases based on amino acid sequence similarities. *Biochem. J.*, **293**, 781-788 (1993) .
- 3) A. Kumagai, S. Tada, K. Nozaki, M. Mizuno, T. Kanda, S. Suzuki, K. Kusumoto, T. Sasaki, Y. Kashiwagi, and Y. Amano: Enzymatic production of glucosylxylose using a cellobiose phosphorylase-yeast combined system. *J. Appl. Glycosci.*, in press, doi: 10.5458/jag.JAG-2010_008.

書籍引用の場合

- 4) A.H. Young: Fractionation of starch. in *Starch: Chemistry and Technology*, R.L. Whistler, J.N. BeMiller and E.F. Paschall, eds., 2nd Ed., Academic Press, New York, pp. 249-283 (1984).

書籍であっても、次に類するものは雑誌と同様に扱う。

- 5) K.B. Hicks: High-performance liquid chromatography of carbohydrates. *Adv. Carbohydr. Chem. Biochem.*, **46**, 17-72 (1988) .
- 6) M.R.J. Salton: Chemistry and function of amino sugars and derivatives. *Annu. Rev. Biochem.*, **34**, 143-174 (1965) .
- 7) L. Lehle and W. Tanner: Synthesis of raffinose - type sugars. *Methods Enzymol.*, **28**, 522-530 (1972) .

学会講演要旨集の場合

- 8) Y.L. Chen and N.A. Morrison: Unique functional properties of microfibrillar cellulose. in *Abstract Book of XIX International Carbohydrate Symposium*, AP 111, San Diego, CA (1998) .

特許の場合

- 9) Nihon Shokuhin Kako Co., Ltd., M. Muramatsu, T. Nakakuki, S. Kainuma and T. Miwa: Production Method of Branched Fructooligosaccharides, U.S. Patent 5,334,516, (1994).
- 6) Tables: 表はテキストデータとして使用可能な形で作成する。本文出現順に「Table 1」のようにアラビア数字で番号をつけ、一つずつ別紙とし、横罫を用いて必要な区分を行い、できるだけ縦罫は用いない。表の上部には「Table 1.」のようにアラビア数字で番号をつけ、内容を適切に示

すタイトルを記載する。脚注を用いるときは、表の下に説明等を記載する。

- 7) **Figures**: 図はファイルとして作成する。PPT, PPTX, PDF, TIF, JPG, EPS, ファイルが最終原稿として受け付け可能であるが、それ以外のファイル形式に関しては、最終原稿提出時に確認する。本文出現順に「Fig. 1」のようにアラビア数字で番号をつけ、一つずつ別紙とする。図中の数字、説明語の文字の大きさは、片段は左右 80 ミリ、全段は左右 175 ミリの出来上がりの縮尺を考えて使用する。なお、印刷に不適な解像度の図については、最終原稿受付時に編集部より案内があるので、それに従って修正を行うこと。
 - 8) **Figure legends**: 図のタイトルと説明は、図とは別のページにテキストとして記載する。一つの図の説明と次の図の説明の間には 1 行の空白をあけること。モノクロ印刷希望で審査原稿のファイルがカラーである場合は、図の説明にモノクロで印刷希望することを記すこと。記されていない場合は、カラーで印刷されることとして原稿が審査されるので注意すること。
 - 9) **電子付録**: 補足的な情報(図や表等)を電子付録として作成しても良い。論文掲載時においては、電子付録は Web (インターネット) で公開することを基本とする。本文テキスト中に(例: Fig. S1; see J. Appl. Glycosci. Web site)データの存在を示す。ファイル形式は PDF が望ましい。動画は、少なくとも Windows 系、Mac 系のプラットフォームで、無料ダウンロード可能なソフトウェアで、見ることができる形式のものに限る。
4. **数式と数字表記**: 文章中に数式を用いるときは 1 行に組み入れるようにすること(例, $a=bc/\log[(d+e)/f]$). 数式の番号は (1) (2)・・・とし、数式の行の右寄せに位置すること。大きい数字を書くときは数字を 3 桁ごとにコンマをつけて区切る(例 123,456,789).
 5. **表記**: 種々の物理量の単位およびその用語と記号は国際単位系 SI を基本とする。
 - 1) **数量の単位**: 長さ, m (メートル), Å (オングストローム) (μ , $m\mu$ は μm , nm とする); 面積, m^2 (平方メートル); 体積, L (リットル); 質量, g (グラム), mol (モル, 絶対量); 時間, year (s) (年), month (s) (月), week (s) (週), day (s) (日), h (時間), min (分), s (秒); 温度, °C; 絶対温度, K; 濃度, M (モル濃度), % (パーセント), ppm, ppb; 熱量, cal (カロリー), J (ジュール); 重力加速度, G; 力, N (ニュートン), dyn (ダイン), , kgf (キログラム重); 圧力, Pa (パスカル), kgf/cm^2 ; (キログラム重/平方センチメートル); 仕事率, W (ワット); 電流, A (アンペア); 電位, V (ボルト); 電気抵抗, Ω (オーム); 粘度, $\text{Pa}\cdot\text{s}$ (粘度), BU (ブラベンダーユニット); 放射能, Bq (ベクレル), cpm (count per minute), R (レントゲン); 角度, ° (度), ' (分), " (秒); 沈降係数, S (Svedberg unit = 10^{13} s); その他, I_2/g (ヨウ素親和力), U (酵素活性, $\mu\text{mol}/\text{min}$), mesh (メッシュ).
 - 2) **化合物の名称および表記法**: 基本的に IUPAC の規則に従う。一般的に用いられている慣用名は誤解を生じない限り使用しても良い。天然型のアミノ酸, 核酸, 補酵素の略号は定義なしに使用できる。アミノ酸の略号は配列情報として表す場合のみ 1 文字略号でも良いが、それ以外は 3 文字略号を使用する。
 - 3) **酵素名**: 常用名あるいは系統名を用いること。酵素の性質が主題である論文については、本文中の初出の箇所に国際規約名およびコード番号を示すこと (Enzyme Nomenclature, <http://www.chem.qmul.ac.uk/iubmb/enzyme/>).
 - 4) **生物の学名の略記**: 表題, 要旨および本文の中のそれぞれの初出の箇所では 2 命名法による正式名, たとえば, *Aspergillus niger*, *Manihot esculenta* Crantz で書き, それ以降の箇所では混乱の起こらない限り, たとえば, *A. niger*, *M. esculenta* と省略してよい。

- 5) 配列情報など：新規の DNA 塩基配列は DDBJ 等，新規の X 線結晶構造解析の原子座標のデータについては PDB, CCDC 等の公的データベースに登録し，登録番号 (Accession Number) を MATERIALS AND METHODS に明記する。